



印西ク第68号  
平成22年11月26日

印西地区環境整備事業組合  
管理者 山崎 山洋 様

印西市長 山崎 山洋



印西クリーンセンター次期中間処理施設整備事業 事業対象候補地  
の選定について（回答）

平成22年5月13日付け、印環第312号において、協議のありましたこのことについて、下記のとおり回答します。

記

1. 回答要旨： 事業対象候補地3箇所のまちづくりにおける見解についての検討にあたり、現施設（印西クリーンセンター）の検証を行った。  
その検証結果を踏まえ、まちづくりの具体的な視点として、「都市計画」、「景観」、「住民への影響度」及び「環境負荷軽減への貢献度」の4つを抽出し、事業対象候補地3箇所をそれぞれ分析し、意見を整理集約した結果、まちづくりの具体的な視点における各候補地の意見については、大きな差はなかった。  
しかしながら、昨今の環境問題、循環型社会への転換、また印西地区ごみ処理基本計画における基本理念等を踏まえると、現行の熱供給施設（エネルギーセンター）及び余熱利用施設（温水センター）へ引き続き熱エネルギーを供給することにより、現在と同程度以上のCO<sub>2</sub>の削減が期待できることから、候補地としては、現在地、又は泉・多々羅田地先が望ましいと思われる。  
また、経済性については、処理施設の整備には多額の費用負担が伴い、大きな課題であることから、印西地区次期中間処理施設整備検討委員会からの報告を尊重しつつ、印西地区環境整備事業組合において、さらに精査・研究していただきたい。
2. 添付資料： 「まちづくりの具体的な視点（要素）における各候補地の検討結果」  
「現施設（印西クリーンセンター）の検証」
3. その他： 候補地選定の際には、周辺住民の生活環境を十分考慮していただきたい。また、選定後は、地元対策を十分考慮していただきたい。

